

充電式 インパクトドライバー セット

取扱説明書

18Vリチウムイオン電池パック

UB18VIDII50BPCG



もくじ

安全上のご注意	1～6
各部のなまえとはたらき	7～8
ご使用前の準備	
電池パックを充電する	9～12
充電器を壁に取付けて使用する	13～14
ビットの取付け・取外しかた	15
フックの取付け・取外しかた	16
ご使用方法	17～21
電池パック・充電器について	22
お手入れ・保管	23
故障かな?と思ったときに	24
仕様	25
修理について	26

- このたびはUBERMANN製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、十分ご理解いただき正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

- いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ※表記内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や、傷害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることや、可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が傷害を負う可能性及び物質・財産の損害が発生する内容」です。

- ※なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載しているの、必ず守ってください。
- ※お守りいただく内容は下記の図記号で表しています。

 禁止	してはいけない内容です。
 実行	しなければならない内容です。

作業環境に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

 警告	
 禁止	●換気の良くない場所での充電はしないでください。
	●可燃性の液体ガスのある場所で使用したり充電したりしないでください。 ※発熱・発火・発煙・破裂のおそれがあります。
 実行	●作業箇所に電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを十分確認ください。 ※埋設物に触れると感電や漏電、ガス漏れなどの事故につながるおそれがあります。
	●騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い(イヤーマフ)などの防音保護具を着用してください。 ※守らないと聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。
	●作業時は保護メガネを使用してください。及び粉塵が多い作業または環境では、防塵マスクを併用してください。 ※守らないと目、喉に傷害を受けることがあります。
	●作業する場所は十分に明るくしてください。 ※暗くて視野が悪いと、事故やけがの原因になります。
	●加工物はしっかりと固定してください。 ※不意に動き、けがをするおそれがあります。安全のため、固定にはクランプや万力などを利用してください。
	●作業する場所はキレイに保ってください。 ※散らかった場所部材が散乱していると事故の原因になります。
●取扱や作業方法、周りの状況などを十分注意して、常識を働かせて作業をしてください。 ※守らないと事故やけがのおそれがあります。	

作業環境に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

! 実行

- 屋外での作業の場合は、滑らない履物を使用してください。
※守らないと滑ってけがの原因になります。
- 衣服や髪・アクセサリーなどが、巻き込まれないような服装で作業してください。
※守らないと回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。長い髪は帽子や、ヘアバンドなどで覆うなどし、だぶだぶの衣服やネックレスなどは着用しないでください。
- 高所作業時は、墜落防止用器具を使用してください。
※下に人がいないことを確認してください。守らないと事故のおそれがあります。

⚠ 注意

⊘ 禁止

- 子供の手の届くところに置かないでください。
※事故やトラブルのおそれがあります。
- 子供などの作業員以外を作業場に近づけたり、先端工具や充電器に触れさせたりしないでください。
※けがのおそれがあります。
- 疲れているときは使用しないでください。
※事故やけがのおそれがあります。
- 無理な姿勢での作業はしないでください。
※転倒してけがをするおそれがあります。常に足元をしっかりとらせ、バランスよく作業できるようにしてください。

電池パックに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

⊘ 禁止

- 電池パックは、火中への投入、加熱はしないでください。
- 電池パックの端子部を金属など接続させないでください。
- 電池パックを釘・ネジなどの金属と一緒に持ち込んだり、保管はしないでください。
- 電池パックに釘・ネジなどを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
※漏電や感電などで発火の原因になります。
- 当社充電工具専用の指定の充電式電池パック以外を使用しないでください。
また、改造した電池パックや分解して内蔵部品を交換した電池パックなども使用しないでください。
- 劣化した電池パックは使用しないでください。
※発熱・発火・破裂のおそれがあります。

電池パックに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

🚫 禁止

- 当社電池パックは、専用充電器以外では充電しないでください。
※電池の液漏れ、発熱・発火・破裂や充電器の故障の原因になります。
- 本体や充電器から外した状態の電池パックは必ず電池パックカバーを取付けてください。
※取付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。
- 電池パックを取付ける前に、スイッチ OFF を確認してください。
※スイッチ ON のままだと事故につながる可能性があります。
- 電池パックは、「UBERMANN」製品以外に取付けしないでください。
- 電池パックを高温場所で充電、使用、保管しないでください。
※電池パックを、周りの温度 50℃ 以上の場所には保管しないでください。
電池パック劣化要因となり、発火、発煙のおそれがあります。
- 電池パックを油・水などの異物が付いた状態で使用しないでください。
※落下して事故になるおそれがあります。また、内部に油・水などの異物が入ると発熱、発火、破裂のおそれがあります。
- 電池パックを満充電しても、著しく作業時間が短くなった電池パックは使わないで下さい。
- 電池パックが使用中、使用後熱くなることがあります。火傷の原因となるため注意してください。
- 充電中、充電器や電池パックを布やダンボールなどで覆わないでください。

⚠ 実行

- 電池の液が漏れたときは素手で触らず、以下の処理をしてください。
※液が目に入ったときは失明のおそれがあります。目をこすらずに、直ちにきれいな水で洗ったあと、医師に相談してください。
※液が身体や衣服に付くと、皮膚の炎症や、けがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師に相談してください。
※液モレした電池パックは、使用を中止し、火に近づかないようにしてください。
すぐに販売店に相談してください。
- 複数の電池パックに渡る連続作業はしないでください。
※本機・電池パックは約 20 分、熱を冷ましてからご使用ください。
- 電池パックは最後までスライドさせ、カチッと音がして外れないことを必ず確認してください。
※守らないと、電池パックが落下し、事故になるおそれがあります。

充電工具及び充電器使用に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

●コンセントや配線器具に定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしないでください。
※タコ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因になります。

●電源コードやプラグを破損するようなことはしないでください。

●きず・破損・加工・無理な曲げ・ねじり・引っ張り・挟み込む・束ねる・熱器具に近づけたりしないでください。
※傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。コードやプラグは定期的に点検し、破損している場合は販売店に相談してください。

●直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。

●本体及び充電器の通気口を塞がないでください。
※火傷をしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。

●本体や充電器の通気口から出る熱風を直接肌に当てないでください。

●作業直後は、先端工具（ビット、チップソー等）やネジ・切りくず・電子端子に触れないでください。
※高温になっており火傷や切り傷などのおそれがあります。

●改造や分解をしないでください。
※火災、感電、けがのおそれがあります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

●雨中や、湿ったまたは濡れた場所で、使用したり充電したりしないでください。
※感電や発煙のおそれがあります。

●濡れた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししないでください。また、充電器や電池パックも触らないでください。
※感電のおそれがあります。

●使用時以外は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※守らないと絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

●本体、充電器を油・水などの異物が付いた状態で使用しないでください。
※落下して事故になるおそれがあります。また、内部に油・水などの異物が入ると発熱、発火、破裂のおそれがあります。

⊘ 禁止

●電源プラグは最後の根元まで確実に差し込んでください。
※差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。傷んだコードやプラグ、緩んだコンセントなどは、絶対使用しないでください。

⚠ 実行

●電源プラグのホコリ等は定期的に除去してください。
※プラグなどにホコリが溜まると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

●指定の付属品を利用してください。
※守らないとけがをするおそれがあります。

充電工具及び充電器使用に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

ⓘ 実行

- 使用前に本体、充電器、電池パック、充電器及び先端パーツや、その他の部品が損傷なく正常に作動することを確認してください。
※守らないと破損等によりけがをするおそれがあります。
- 本体が熱くなったら、作業を中断し、温度が下がってから使用してください。
※守らないと火傷をするおそれがあります。
- 屋外で充電するときは、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。また、太さ（導体公称断面積）2.0mm²×長さ10mの延長コードを使用することを推奨します。最高の能率でご使用いただけます。
※守らないとケーブルが破損して発火、発煙のおそれがあります。
- 使用前にコードの破損がないか点検してから、使用してください。電源プラグを持って抜いてください。
※コードを持って抜くと、破断、感電、ショートの原因になります。
- 使用場面に合った延長コードを使用してください。
- USB端子付きの充電器は、USB端子間をショートさせないでください。
※針金などがUSB端子に入るとショートして発煙、発火のおそれがあります。
- 集じん機能があるものは接続して、使用してください。
※これを使用すれば粉じんの人体への負担を減らせます。
- 安全、効率よく作業いただくため本機は、能力に合った作業に使用してください。
※故障の原因になるおそれがあります。

⚠ 注意

⊘ 禁止

- 本機を50℃以上になる場所に保管しないでください。
※動作異常のおそれがあります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。
※けがや事故のおそれがあります。

充電式インパクトドライバーに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 注意

🚫 禁止

- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
※発煙、発火のおそれがあります。常に足元をしっかりとさせ、バランスよく作業できるようにしてください。
- 使用中はビットなどの先端工具、回転部に顔を近づけないでください。
※けがの原因になります。
- 本機使用中は、軍手などの巻き込まれるおそれがある手袋を着用しないでください。
※回転部や先端工具に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。
- フック使用中は無理な体勢や体を激しく動かさないでください。
※本体の落下により、事故・けがのおそれがあります。
- フック使用時は、本体に先のとがった先端工具を取付けないでください。
※けがをするおそれがあります。

⚠ 注意

❗ 実行

- 先端工具や付属品は、確実に取付けてください。
※外れたりして、けがの原因となります。
- 使用中は、本機をしっかりと保持し振りまわされないようにしてください。
※事故やけがのおそれがあります。
- 本機を落としたり、ぶつけたときは、本機の破損や亀裂がないことを確認してください。
※そのまま使用するとけがの原因になるおそれがあります。
- 本機の仕様以上の作業能力・サイズを守りください。
※故障の原因になります。
- 本機の作業については、P-25の本機の仕様数値をご覧ください。数値以上の作業を求めると故障の原因になりますので、ご注意ください。

各部のなまえとはたらき

※UB18VID II 50BPCG セット

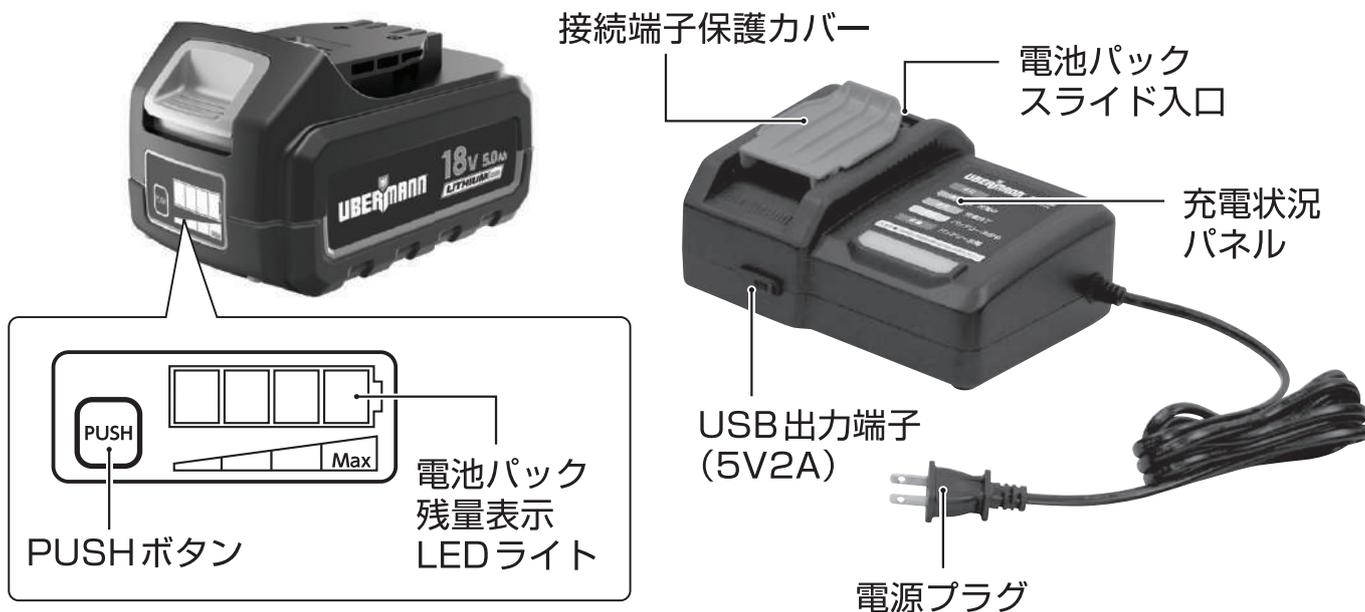
本体 UB18VID II BFS



※UB18VID II 50BPCG セット

電池パック 2個 UB18VBP50

専用充電器 1台 UB18VCG6A



各部のなまえとはたらき

付属品・別売品

※UB18VID II 50BPCG セット

商品名	付属品数	別売品・品番
本体 	セット品 1 個	UB18VID II BFS (本体のみ別売品有) ベルトフックは付属しています。
ベルトフック ネジ 	セット品 1 個	UB18VIDBF (別売品有)
充電器 	セット品 1 台	UB18VCG6A (別売品有)
電池パック 	セット品 2 個 UB18VBP50	UB18VBP25 (別売品有) UB18VBP50 (別売品有)
電池パックカバー 	セット品 2 個	UB18VPSF1550 (別売品有)
収納ケース 	セット品 1 個	UBSC5 (別売品有)
⊕2両頭ビット 65mm 	セット品 1 本	※市販品をお選びください。
取扱説明書	セット品 1 冊	

お知らせ

- 本機 UB18VID II 50BPCG には、別売品電池パックがご使用できますが、付属の充電器での充電時間が異なりますのでご承知ください。

充電器 UB18VCG6A	電池パック	充電時間(約) <small>使用後冷ました電池パック</small>	UBシリーズ
//	UB18VBP25	約 45 分	18V 全種 使用可能
//	UB18VBP50	約 70 分	

ご使用前の準備 電池パックを充電する

充電器充電表示ライトの見かた 【UB18VCG6A】

ライト表示	表示内容	参照
赤 赤点灯	通電状態 赤点灯 (電源に差し込んだ状態です) 通電表示 。	P.11
緑 緑点滅	充電開始時 緑点滅 電池パックを差し込むと『ピッピッピ』と電子ブザーが鳴り、冷却用ファンが始動します。 通常充電 。 充電中 緑点滅	
緑 緑点灯	充電完了 緑点灯 電子ブザーが『ピッピッピ』と鳴る。 緑点灯の充電完了 (目安) 時間は、電池の種類により異なります。 UB18VBP50=約70分、UB18VBP25=約45分	
黄 黄点灯	冷却中 黄点灯 ①電池パックが高温です。 冷却後自動的に充電開始 。 ②電池パックが氷点下です。 ※電池パック自体が約0℃以上になると自動充電開始。 電池パック自体を少し温めてから再度充電を行ってください。	
(異常時のライト表示及び表示内容)		
赤 赤点滅	電池故障の場合 赤点滅 ※新品電池パックをお買い求めください。	

冷却用自動ファンについて

- 充電を開始すると自動でファンが作動します。
- 電池パック自体温度が氷点下にあるときは、充電器に差し込むと冷却ファンも同時に作動しますので、充電開始になりません。充電目安として、充電器の環境温度が20℃ならば電池パックを約30分以上経過してから充電器に差し込んで充電を行ってください。

電子ブザーの鳴るタイミング

- 電池パックが正常の場合、充電器に差し込んだ充電開始時に [ピッピッピ] と約4秒間鳴ります。【緑点滅】
- 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯になります。同時に電子ブザーの [ピッピッピ] の音が約4秒鳴ります。

充電の前に

- 充電器は0~40℃の場所に設置し、充電する場所の温度に近い電池パックを充電してください。(充電する場所との温度差が15℃以内が良い。)
- 電池パックの温度が0℃以下または充電する場所の温度差が大きい場合は十分に充電できない場合があります。その場で長い時間(1時間以上)放置してから充電してください。(電池パックの表面温度と電池パック内部の温度差があるため)

！ 実行

- 電池パックを2個連続で充電を行う時は、充電を約30分以上休止し、充電器の温度が下がってから充電をしてください。
- 充電器はホコリの多い場所や、水や雨にかかる場所で使用しないでください。故障の原因になります。

お知らせ

- この説明書に記載の温度は目安です。実際には条件により、多少のずれが生じる場合があります。

ご使用前の準備 電池パックを充電する

冷却システムについて

- ①電池パックの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンにより電池パックを効率良く冷却するシステムです。冷却ファン吸引口は送風の音がしますが故障ではありません。
- ②冷却ファンが故障したり、充電器や電池パックのゴミ詰まりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点灯し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行います。充電時間が長くなることがあります。このようなときは、充電器、電池パックの通気口がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ③充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点灯していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
 ※充電器、電池パックの通気口をふさがないでください。
 ※頻繁に「黄」のライトが点灯するようときは、点検・修理を販売店にお申し付けください。
- ④充電完了後冷却ファンは同時に止まりません。充電環境温度にもよりますが、満充電電池状態では電池パック自体の温度が上がっているため、ファンは止まりませんが、温度が下がれば自動で冷却ファンは停止します。充電完了同時には止まりませんが故障ではありません。



①充電器本体



②冷却ファンの通気口
(充電器の裏側)



③電池パックの通気口
(電池パック上部)

電池パック残量表示LEDライトの見かた

●電池パックLED正面左の残量確認ボタンを押すと使用前、中、後の電池残量が確認できます。

電池パックLED表示	電池電圧残量目安	充電指示状況
点灯	75%~99%	作業良好・保管可能
点灯	50%~75%	作業可
点灯	25%~50%	充電をしてください
点滅	0%~25%	作業中止・充電をしてください

●電池残量表示LEDライトが1灯点滅のまま作動を続けると、電池パック自体が充放電しなくなり使用できなくなります。過放電状態といえます。

⚠ 注意

- 電池パックの表示LED点灯数は利用状況や気温などによって実際の表示残量と異なる場合がありますので、目安として参考にしてください。
- 作業開始前後瞬間でもLED残量表示が異なることがありますので、作業前には満充電状態から使用されることを望みます。

ご使用前の準備 電池パックを充電する

充電のしかた

- 1 充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでください。
充電表示ライトは「赤」の点灯になります。



- 2 電池パックを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
充電器の端子保護カバーは指で持ち上げるか、電池パック挿入に伴い、ゆっくりと開閉することもできます。
※無理にカバーを上げると破損のおそれがあります。



- 3
- ①電池パックを挿入すると充電表示ライトが「緑」に点滅し、「ピッピッピ」充電開始電子ブザーが短時間流れ、充電を開始します。
 - ②充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了電子ブザーが鳴ります。そのまま電池パックを挿入しておけば冷却します。
※充電時間は周囲温度(10℃~40℃)や電池パックの状態(新品・長期保存電池パックや寿命に近い電池パックなど)により変動します。
 - ③充電完了後すぐに使用しない場合は、電池パックの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約1時間です。
 - ④電池パックを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

LED表示ライト

① 緑 +ピッピッピ...
緑点滅 数秒

② 緑 +ピッピッピ...
緑点灯 数秒

充電完了

「ピッピッピ」

緑 点灯



ご使用前の準備 電池パックを充電する

USB 電源端子への接続

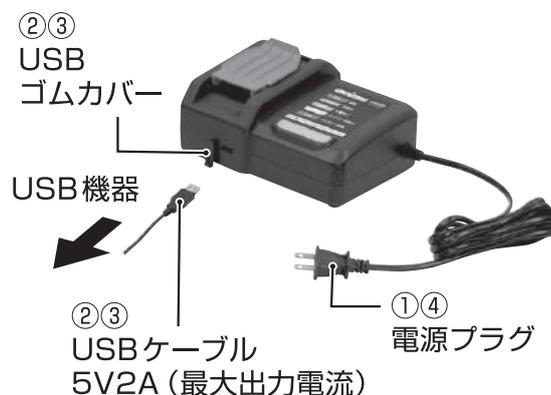
⚠ 注意

- 本機充電器は、様々なUSB機器の外部電源としても使用することができます。
(最大出力電流は5V2A)
次の注意事項をお読みの上、正しくお使いください。

- 雨水の掛かる場所での充電はしないでください、故障の原因になります。
- 本機充電器は、専用電池パックを充電しながらでも、USB電源の利用が可能です。
- 万一の場合に備えて、ご使用になるUSB機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。
※接続したUSB機器の内部データが(予測できない問題により)破損・消失する可能性があります。
- USB機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。
- 5V2Aを超える出力電流を必要とするUSB機器は、充電器に接続しないでください。
USB電源端子の最大出力電流は、5V2Aです。
※使用接続機器や本機故障の原因になるおそれがあります。
- 充電器との接続には、USB機器付属のUSBケーブルをご使用ください。【市販品をお買い求めください。】
- 使用後は充電器正面のUSBゴムカバーを戻してください。
※USBゴムカバーが開いていると充電器内部に水滴やほこりが侵入し、充電器の故障につながります。

【使用手順】

- ① 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
- ② 本体正面のカバーをはずして、USBケーブルでUSB機器と充電器を接続してください。【市販品】
- ③ 使用後は、USB機器、USBケーブルを取りはずし、カバーを戻してください。
- ④ 電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



ご使用前の準備 充電器を壁に取付けて使用する

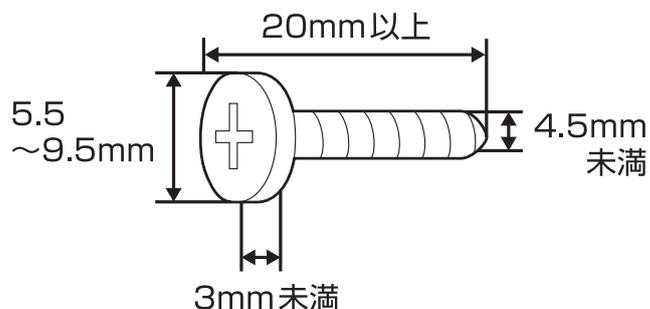
⚠ 注意

- 壁に取付けて使用する場合は、必ず吊り下げ用ネジ2本で本機の裏面のネジ穴に確実に吊り下げてください。
※落下して破損したり、けがの原因になります。
- 充電器の取付け作業をするときは、電池パックを抜き取り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で設置してください。
- 充電器を壁に取付け後は、電池を抜き取る時に充電器が落下することがありますので、必ず充電器上部に固定ネジを打ち込んで、充電器が外れないようにしてください。
- 壁に取付ける場合は、充電器の重さに電池パックの重さが加わり約1.5kgになりますので、取付ける場所が耐荷重に耐えられるか確認し、不足の場合は取付け場所を十分補強してください。
- 壁掛けした充電器に電池パックを充電したり、取外しの際は動作を途中でやめないでください。電池パックが落下したり、充電器が壁より外れたりして危険です。
- 壁取付けのネジは定期的に緩んでいないか、しっかり固定されているか確認してください。

充電器の壁掛けの準備

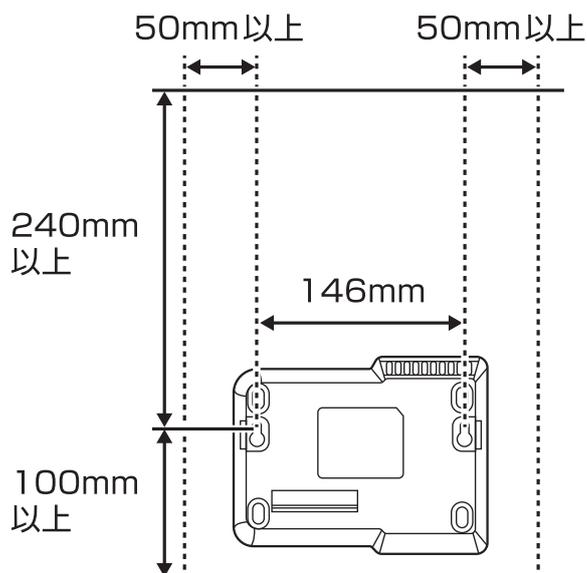
1) 用意するもの (市販品でご用意ください)

- ①木ネジ (吊り下げ用) 4mm×20mm以上=2本
- ②木ネジ (充電器固定ネジ) 4mm×30mm以上

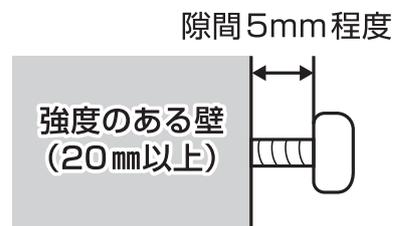


2) 吊り下げ用ネジの取付け

- ①取付けの壁面が凹凸等の障害物がないこと、また壁内や裏に電気配線や通信配線、ガスの配管等がないことを確認してください。



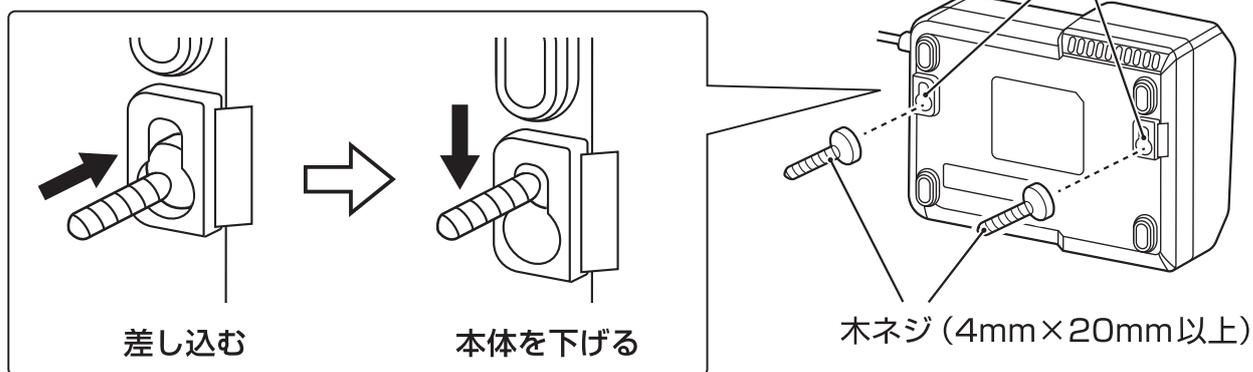
- ②充電器の他電池パックを差し込んでもネジが抜けにくい強度のある壁面に取付けてください。



ご使用前の準備 充電器を壁に取り付けて使用する

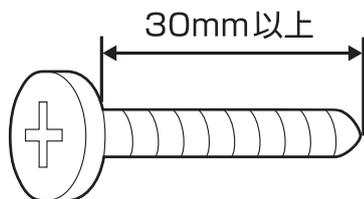
3) 充電器の取付け

吊り下げ用ネジに本機充電器裏面のネジ穴を2ヶ所あわせて、ネジが穴に入った後に引っ掛けて充電器を下に下げてください。4mm×20mm以上ネジ
※壁面ネジ2個と充電器ネジ穴2個が、引っ掛かっていることを確認してください。

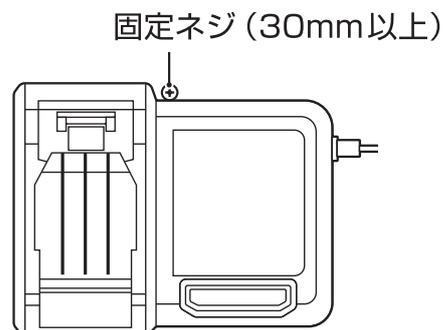


4) 充電器を固定する

充電器がより安全に壁面に固定、保持できるように固定用ネジを図のように締め込んでください。
※本機を破損させないようにネジを打ち込んでください。(市販品ネジ)
使用例 4mm×30mm以上ネジ

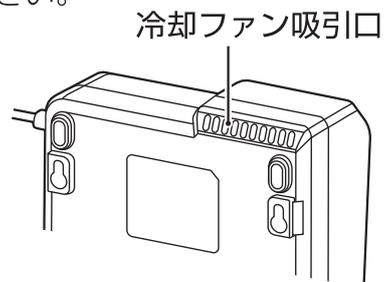


【充電器表側】



5) 充電器の日常点検

- ①日頃から安全に効率よくお使いいただくために日常定期点検を行ってください。
- ②充電接続端子等のゴミやホコリの撤去をする。
柔らかいブラシでまたはエアードスターなどを使用して清掃してください。
- ③冷却ファン吸引口は常にゴミやホコリを避けて使用してください。



6) 保管について

- 子供の手の届かない場所、鍵の掛かる場所に保管してください。
- 湿度の高い場所や温度が急変する場所に保管はしないでください。
- 雨水の掛かる場所は絶対に避けて保管してください。
- 直射日光の当たる場所での保管はしないでください。
- 揮発性物質に近い場所に保管しないでください。

ご使用前の準備 ビットの取付け・取外しかた

⚠ 警告

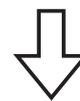
- ビットや付属品などの取付け・取外しの際は必ず電池パックを抜いてください。
※本機が作動して、けがのおそれがあります。

- ビットやソケットは下記のものをご使用ください。それ以外は使用しないでください。

	A=17mm B=14mm	市販品は、すべてこのサイズでお求めください。 ※インパクトドライバー対応 対辺6.35mm角
	A=12mm B=9mm	使用しないでください。

- ①しっかりと差しこんでください。
※手前に引いて抜けない事を確認してから作業を初めてください。
 - ②市販ビットの取付けは、スリーブを前方に引いてビットを奥まで差し込んで取付けは出来ます。
ビットを軽く引っ張っても抜けないことを確認してください。
※ビットが正常に取付けてあるときは、少し前後にカタカタ動きますが、全く動かないときは、奥まで差し込んでいない状態とされます。
- ビットが定位置でない状態で作業すると、抜けなくなる場合がありますので注意してください。

ビットを
奥まで差し込む



軽く引っ張っても
抜けないか確認

少し前後に
カタカタ動く

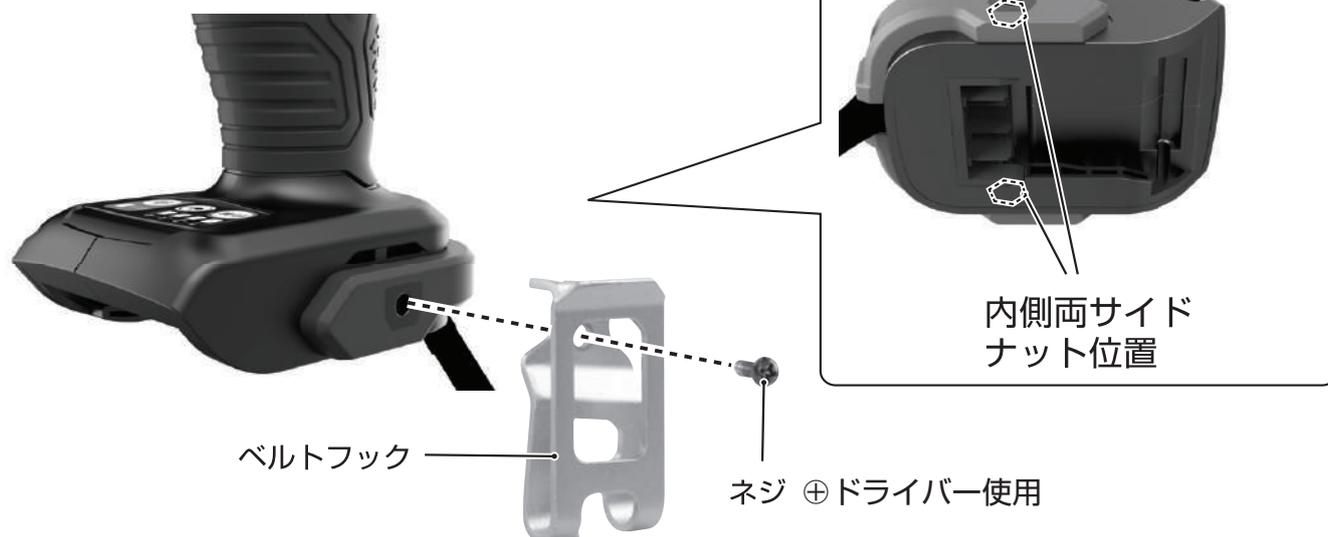


⚠ 注意

- ビットは奥までしっかり差し込んでください。不十分だとスリーブが元の位置に戻らず、ビットの固定ができません。
- 取りはずす場合は、スリーブを前方に引いてビットを抜いてください。

ご使用前の準備 フックの取付け・取外しかた

- 取付けるときは、本機の溝にフックを差し込んだ後、ネジで固定します。
左右どちら側にも取付け可能です。
※本体の内側両サイドにネジ専用ナットが埋め込まれています。
- 取外すときは、ネジをゆるめてからフックを外します。
- 別途部品販売有 品番BU18VIDBF



電池パックは外した状態
で行ってください。

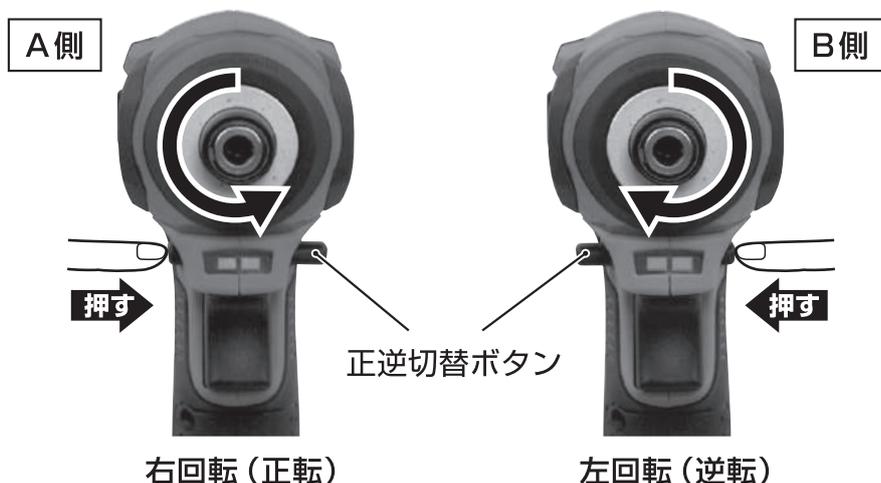
⚠ 注意

- フックを取付ける際は、ネジを十分に締め付けてください。
ネジの締め付けが不十分ですと、フックがはずれ、事故の原因になります。
- フックはベルトの幅、太さによって完全に保持できない場合があります。十分に保持できることを確認の上、ご使用ください。
※特に高所作業では、本機の落下で事故やけがのおそれがあります。

ご使用方法

1. 正逆切替ボタンの操作

- 正逆切替ボタンのA側を押すと右回転（正転）し、B側を押すと左回転（逆転）します。
- 正逆切替ボタンを中間の位置にすると、スイッチレバーが引けなくなります。（安全ロック位置）



⚠ 注意

- ご使用前には必ず回転方向を確認してください。
- 正転・逆転の切り替えは、モータの回転が停止した状態で行ってください。回転中に切り替えますと故障の原因になります。
- 本機を使用しないときは、正逆切替ボタンを中間のロック位置にしておいてください。

2. スイッチの操作

⚠ 警告

- 本機に電池パックを差し込む前に、正逆切替ボタンが中央のロック位置にあることを必ず確認してください。
※スイッチを入れたまま電池パックを差し込むと急に動き出し、事故やけがの原因になります。



正逆切替ボタンの面 矢印 ← 正回転 押す
正逆切替ボタンの面 矢印 → 逆回転 押す

- スイッチレバーを引くと回り、放すと止まります。無段変速機能付スイッチ。
- スイッチレバーの引き加減により、お望みの回転数および打撃数が得られます。

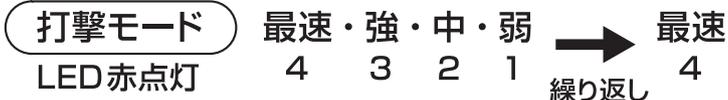


ご使用方法

3. 打撃力の切り替え

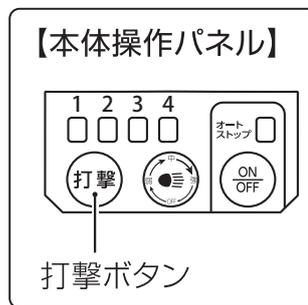
※一度スイッチレバーを引いてから操作します。

- ①本機は打撃ボタンを押すごとに打撃力を4段階に切り替えることができます。
作業シーンに最適なモードを選んでください。



- ②正転と逆転は表示LEDライト点灯数4最速・3強・2中・1弱に設定されますので、作業によって設定を行ってください。

- モードの切り替えには、スイッチパネルの打撃ボタンを押して行ってください。【打撃=赤点灯】(正・逆共通)
- スイッチ操作を全くしない時間が経過すると自動で消灯します。(約1分間)
※スイッチを引くと、設定されていた打撃モードより開始します。

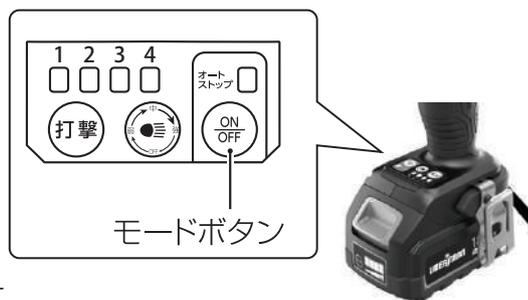


4. オートストップモード機能

- 逆回転時のみ設定・作動します。

- ①正逆切替ボタン(B側:逆転)を押してください。
- ②表示パネルのオートストップボタン(ON)を押してください。→【LEDライト=緑点灯】
- ③作業時に逆回転が必要なボルトやネジの取外しに対し自動で止まりますので、再度スイッチレバーを引いてご利用ください。
- ④オートストップモード機能を解除する場合はLED緑点灯時にモードボタン(OFF)を押してください。
※解除すると元の打撃設定時に戻ります。作業に合わせて調整してください。

- スイッチ操作を全くしない時間が経過すると自動で消灯します。(約1分間)
※スイッチを引くと、設定されていた打撃モードから開始します。
また一度スイッチレバーを引かないと別モード設定はできません。



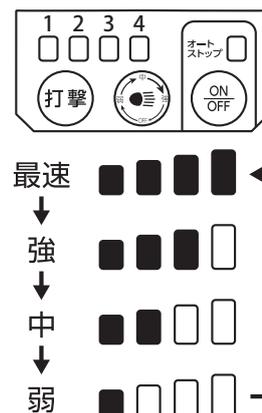
⚠ 注意

- ①スイッチレバーを一度引き、スイッチパネル上のいずれかのランプが点灯している状態にします。
- ②打撃モード切り替えの操作は、スイッチレバーを放してから約1分間可能です。
※ただし、打撃ボタン、モードボタンのいずれかを押し、切り替え可能時間が約1分延長されます。

打撃モードの切り替え

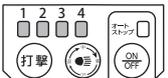
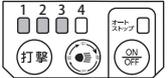
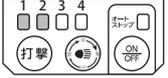
打撃力を最速、強、中、弱の4段階に切り替えることができます。

- 打撃ボタンを押すごとに打撃力が順番に切り替わります。



ご使用方法

●各モードの詳細は、以下の表をご覧ください。※1度スイッチレバーを引いてから操作してください。

打撃モード (□=点灯)	□点灯数	締め付けトルク	使用例
最速 	4	185N・m	パワーやスピードを優先したい作業。 例：下地材、長ネジ、ボルトの締め付け。
強 	3	180N・m	最速モードほどの打撃力を必要としない一般作業。 例：造作作業時のネジ締め、ボルトの締め付け。
中 	2	50N・m	仕上がりを重視する必要がある作業。 例：仕上げ材、石工ボードなどのネジ締め。
弱 	1	20N・m	締め過ぎるとネジが破損してしまうため、力を抑える必要がある作業。 例：サッシネジ、M6程度の小ネジなどの締め付け。

※オートストップモード機能は、正逆切替ボタンが逆転時にのみ機能します。(自動ストップモードです。)

※設定をするときも同じです。

※打撃モードは設定後、約1分後にOFFになりLEDは消灯しますが、1度スイッチを引くと前回設定が記憶されています。

5.LEDライトの点灯

⚠ 注意

- LEDライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てないでください。
※LEDライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。

- スイッチパネルの  ボタンを押すとLEDライトのON状態は弱・中・強の3段階に調節ができます。またOFF状態にも切り替わります。

※ライトモード明るさ切替 OFF → 弱 → 中 → 強のリターン式です。

- ON状態のときはスイッチレバーを引くと設定した明るさに点灯し、放すと約10秒で消灯します。
- 消灯後スイッチレバーを引くと自動で先の設定した点灯になります。
- OFF状態のときはスイッチレバーを引いても点灯しません。



⚠ 注意

- スイッチレバーを引き、LEDライトが点灯すればON状態、ライトOFF設定にしていればLEDライトは点灯しません。
- スイッチレバーを引いている間は切り替えできません。
- スイッチレバーを放してから10秒間切り替え可能です。
- 本機が高温になった場合にライトが点滅します。本機を冷ましてください。故障ではありません。
- 電池残量が過放電状態になると、本機が停止し本体のLEDライトが点滅しますが、故障ではありません。電池を充電してください。

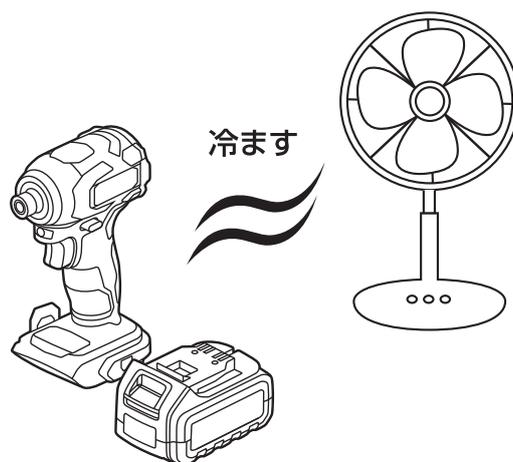
ご使用方法

本機および電池パックの保護機能

本機を使用中、下記状態になりますとモーターが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

●本機および電池パックの温度が高温になるとモーターが自動停止します。

- 本機が自動停止して、LEDライトも点滅する状態になりますので、電池残量もチェックボタンを押して電池残量を確認してください。
- 使用を中断して本機より電池パックを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。
- 電池パックを冷ましても本機が動作しない場合は、本機を冷ましてください。



●電池パックの容量が少なくなるとモーターが自動停止します。故障ではありません。

- LEDライトが同時点滅します。
- 本機より電池パックを取りはずし、電池パックを充電してください。
- 電池自体にも電圧残量表示で確認ができます。PUSHボタンを押す。
→ LEDライト1個点灯またはLEDライト1個が点滅になります。



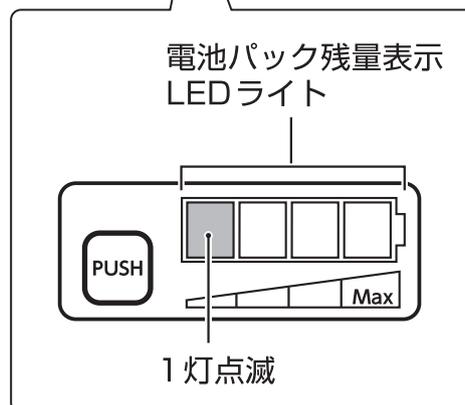
【PUSHボタンを押すと】

●電池残量表示LEDも1灯点滅します。

※この状態で作業すると電池パック自体が充放電しなくなり使用できなくなります。過放電状態といいます。作業は中止し、直ぐに充電を行ってください。

●本機が過負荷状態になるとモーターが自動停止します。

- いったんスイッチを放し、本機より電池パックを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。



ボルトの締め付け

●ボルトの適正締め付けトルクは、ボルトの材質・サイズ・締め付ける場所の材質などによって異なります。

⚠ 注意

- M8以下のネジの場合、打撃力の切り替えまたはスイッチレバーの引き加減を調整して締め付けてください。事前に締め付け時間と締め付け力を確認してください。
- 本機を押さえつけたり無理な力をかけたりせず、ネジに対して本機をまっすぐしっかりと持ってください。
- 締め付け打撃時間が長過ぎますと、ネジが伸びたり、折損したりすることがあります。また、ビットなど工具類の寿命も短くなります。必ず実作業の前に試しに何本か締め付けて適切な締め付け時間を把握してください。
- ネジは下記の要因により締め付けトルクが変わってきますので、締め付けネジが適正締め付けトルクになっているか、市販トルクレンチなどで必ず測定確認してください。

1.電圧

- 電池パックが完全放電状態に近くなると電圧が降下し、急激に締め付けトルクは低下します。
※作業を中止して電池パックを充電してください。

2.ビット・ソケットビット

- サイズに合ったビット（ソケットビット）を使用しないと、締め付けトルクは低下します。
- 作業中に抜けたりします。また、抜けなくなったりします。

3.ボルト

- 径の異なるボルトでは、トルク係数（ボルトの仕上がり状態により決まる係数、ボルトメーカーで表示）、等級が同じでも締め付けトルクは異なります。
- 同じ径のボルトでもトルク係数、等級、長さによって締め付けトルクは変化します。

4.その他

- 締め付け場所により締め付けトルクは変動します。
- 本機の持ち方により締め付けトルクは変動します。
- スイッチレバーをいっぱいにつまみつかない状態で使用しますと、締め付けトルクは低下します。

電池パック・充電器について

電池パックについて

- 下記の状態となった場合、特に電池パック寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
 - 高温充電の繰り返し……連続作業後の放電による熱い電池パック充電など。
 - 低温充電の繰り返し……0℃以下からの急な充電など。
 - 満充電電池パックの再充電の繰り返し
 - 過放電の繰り返し（過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です。）

電池パックを長持ちさせるには

- 工具の力が弱くなってきたと感じたら作業を中止して、充電してください。
- 満充電した電池パックを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- 使用直後などの熱くなった電池パックは、充電器に差し込む前に冷却してから充電することをおすすめします。
- 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオン電池パックは満充電してから保管することをおすすめします。
- 冬期間の0℃以下の電池は直ぐに充電せず、少し温めてから充電することをおすすめします。

電池パックのリサイクルについて

- リチウムイオン電池はリサイクル可能な資源です。廃棄の際は下記の手順を参考にして販売店にお持ちください。
- 電池パックの接続端子をショートさせないように、電池安全カバーを付けるか、テープ等で絶縁をする。電池パックは最寄りの販売店かリサイクル協力店にお持ちください。



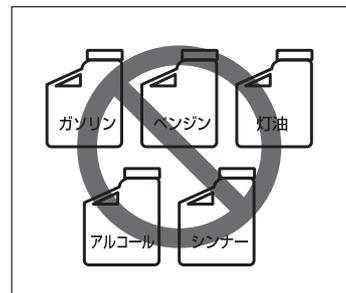
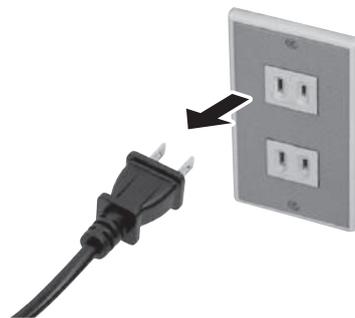
お手入れ・保管

⚠ 警告

- 保守、点検、部品交換などのお手入れ前には、必ず電池パックを本機より取外して行ってください。
※不意に作動してけがのおそれがあります。
- 日頃の点検をおこない、保管場所が40℃以上になる場所での保管はしないでください。
※電池の寿命を損ねたり、使用できなくなることがあります。
- 本機、各部部品を子供の手の届かない場所に置いてください。
※子供が間違えて使用したり、飲み込んだりして事故やけがのおそれがあります。

お手入れのしかた

- 充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- やわらかい布でふく、濡れた布や、シンナー・アルコール・ベンジンなどの揮発性のものは使用しない。
- 本体や部品装着品のネジの緩みがないか確認する。緩みがある場合は、締め直してください。
※ネジの締め過ぎ、付属品等の無理な押し込み、収納は破損のおそれがあります。
- 油汚れなどを拭き取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石鹸水を付けた布をかたくしぼってから本機をふいてください。
※本機は防塵・防水ではありませんので、ゴミ・ホコリ・雨水等を侵入させないでください。
- 充電器や本機の通風口をやわらかいブラシ等で軽くゴミを取り除く。
- 充電器の接続端子や電池パックの接続端子のゴミをやわらかいブラシ等で取り除いてください。



付属品のお手入れ

- 各種アタッチメントは本体やケースなどに適正な保管場所が装備されていますが、簡易的な収納ですので作業環境によって邪魔になる場合や、紛失の可能性もありますので別途収納袋等に各自保管してください。
- 各種市販のアタッチメントは、材質や形状違い、長短・刃物形状違い等がありますので、摩耗状態などをよく確認して、無理な使用はしないでください。破損に注意して取付けや保管をお願いします。

保管のしかた

以下の条件を避けて保管してください。

- 車中などの高温になる場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 子供の手の届く場所。
- ゴミやホコリの多い場所。
- ガソリン・揮発性の高い引火物が有る場所。

故障かな?と思ったときに

修理を依頼される前に一度下記項目を点検してください。

○充電のとき

状態	原因	処理
●充電器の通電赤LEDが点灯しない。	●コンセントに通電されていない。	●別のコンセントで試してください。
●充電器の充電中、緑LED点滅にならず充電されない。	●充電器と電池パックの接続がされていない。	●奥までカチッと音がするまで差し込んでください。
	●電池が高温の為に充電されない。	●黄色LED点灯中は充電ができませんので、ファンで冷却後に自動充電され、緑点滅LEDに変わります。
●充電器が赤点滅LEDを表示して充電が開始されない。	●作業後直後の熱い電池を充電した為。	●新品電池を別途お買い求めください。(販売店まで)
	●電池が過放電状態になっていて充放電が出来ない状態です。	

○作業のとき

状態	原因	処理
●本機が動かない。	●電池パックが正常に本機に取り付けられていない。	●電池パックを奥まで差し込んでください。
●回転が上がらない。	●電池電圧が少ない。	●電池パックを充電してください。
●連続作業しないLED点滅。	●過負荷にする本機故障し。	●電池パック自体の残量表示を確認してください。
	●連続過負荷作業によって本機が熱くなって安全装置が働いている状態。	●修理依頼を販売店に依頼。
●作動時スイッチ部分からピーと異音がする。	●回転制御によるスイッチの電子音。	●本機から電池パックを外して本体と電池パックを冷ましてからお試してください。
●フル充電しても作業時間が短くなった。	●電池の劣化寿命が考えられます。	●別の電池でお試してください。
	●0℃以下に保管された状態。	●故障ではありません。
	●電池電圧の低下。	●電池を20℃環境で1時間程温めてください。
		●電池残量表示で確認してください。
		●新品電池を別途お買い求めください。

●上記記載されている処理をしても改善しないときは、本体・充電器・電池パックをセットで、販売店に修理の依頼をお申し付けください。

警告

点検・整備の作業前には、必ずスイッチを切り、本機より電池パックを抜いてください。

※電池パックを本機に差し込んだまま行くと、事故やけがの原因になります。

仕様

●インパクトドライバーセット UB18VIDⅡBFS(50BPCG)

電動機	DC ブラシレスモーター
電池パック	リチウムイオン電池パック 5.0Ah
入力電圧	DC18V
無負荷回転数(回転/分)	弱:0~1,100、中:0~2,100、強:0~3,200、最速:0~3,600min ⁻¹
締め付けトルク	弱:20N・m、中:50N・m、強:180N・m、最速:185N・m
締付能力	小ねじM4~M8 普通ボルトM5~M16 高力ボルトM5~M14 コーススレッド長さ22~125mm
本機寸法(約)	長さ113.5×幅77.5×高さ189.5mm
質量(約)	0.93Kg(電池パック含まず)

※正転時の数値です。

※作業される場合は、上記表を超えるものを作業すると、本機や締められる方が、破損・故障の原因になりますので、ご注意ください。

セット仕様

●6A充電器 UB18VCG6A

入力電圧	単相交流100-120V			
入力周波数	50-60Hz			
入力容量	160W			
電池パック充電端子	出力電圧	DC21V	出力電流	DC6A
USB電源端子	出力電圧	DC5V	出力電流	DC2A
	端子形状 USB A型			
本機寸法(約)	長さ179.3×幅142.7×高さ94.9mm			
質量(約)	0.84Kg			

●5.0Ah電池パック UB18VBP50

本機寸法(約)	長さ119.9×幅76.5×高さ68.7mm
質量(約)	0.65Kg

別売品仕様

●2.5Ah電池パック UB18VBP25

本機寸法(約)	長さ118.5×幅76.4×高さ53.5mm
質量(約)	0.39Kg

改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

修理について

⚠ 警告

- 保守、点検の際は、必ず電池パックを本機より取外してください。
※電池パックを取付けたまま行くと、不意に作動して事故の原因になります。
- 修理の際は、自分で分解・修理しないで、必ずお買い上げの販売店にお申し出ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金：基本料（修理検知）有料（商品によって異なります）
- ◎技術料：有料⇒診断・故障場所・修理・調整・修理後の点検作業、その他にかかる手間代、費用。
- ◎部品代：有料⇒修理に使用した部品・及びその他補助材料代です。

販売元

株式会社 コメリ

新潟県新潟市南区清水4501-1

お客様問合せ窓口：Tel.025-371-4805

